

MotorGuide®

8M4005264 121 eng



Operation Maintenance Installation Warranty Manual

Tour 82/Tour 109

© 2021 Mercury Marine

適合宣言

本装置はFCC規則第15部に準拠しています。本機器の運転は次の二つの要件に適合する必要があります。

- 1.他の機器に有害な干渉を起こさないこと。
- 2.有害な動作を引き起こす可能性のある干渉を含み、他の機器による干渉の影響を受けない事。

本機器は FCC 規則に準拠しています。モーターガイドの明示的な承認を得ていない変更や改造は、ユーザーの機器を操作する権利を無効にする可能性があります。

本機器は、カナダ産業省のライセンス免除RSS規格に準拠しています。

本機器の運転は次の二つの要件に適合する必要があります。

- 1.他の機器に有害な干渉を起こさないこと。
- 2.有害な動作を引き起こす可能性のある干渉を含み、他の機器による干渉の影響を受けない事。

環境適合宣言

すべてのモーターガイド製品は、指令2012/19/EU WEEE(廃電気電子機器)の対象となります。WEEEマーキング要件に準拠しています。WEEEマーキングの対象となる製品は、欧州規格EN50419に準拠した「バツ印車輪付きゴミ箱」(下図 参照)が表示されています。



製品やパッケージに表示されているマークは、本製品を他の家庭ごみと一緒に処分してはいけないことを示しています。本製品を廃棄する際には、お客様の責任において、指定された電気・電子機器のリサイクル回収場所に引き渡して廃棄してください。廃棄時に分別回収してリサイクルすることで、資源の節約につながり、人の健康と環境に配慮したリサイクルが可能になります。リサイクルのための廃棄物の持ち込み先については、お住まいの地域の自治体、または製品を購入した場所にお問い合わせください。

CE宣言

適合に関するCE宣言のオリジナル文書は[https:// https://-certifications.html](https://certifications.html) でご覧いただけます。

謝辞

最高級のトローリングモーターの一つであるモーターガイドをお選びいただきありがとうございます。当社の長年の経験により、最高品質の製品をお届けする事をお約束します。厳格な品質管理、卓越性、耐久性、パフォーマンス持続性、最善のアフターサービスとサポートを提供することが最高でありつづけるモーターガイドの評判につながっています。

モーターを操作する前に、この取扱説明書をよくお読みください。本書は、トローリングモーターの操作、安全な使用、保守のお役にたてるように準備されました。モーターガイドを信頼してありがとうございます。

保証メッセージ

ご購入いただいた製品には、モーターガイド社の1年間の限定保証が付いています。保証内容については、このマニュアルの保証情報をご参照ください。保証書には、保証期間、重要な免責事項と制限事項、その他関連情報が記載されています。この重要情報をご確認ください。

本書の記載事項と機器の仕様は、本書が印刷された時点のものです。

モーターガイドは継続的に製品を改良する方針としています。予告なしに、仕様、設計、方法、手順の変更やモデルの生産中止をすることがあります。モーターガイドはこの変更や生産中止の責任を負いません。

モーターガイド、ミシガン州ローウェル、アメリカ合衆国

© MERCURY MARINE. すべての権利を保有しています。全体または一部を無断で複製することは禁じられています。

著作権および商標情報

© MERCURY MARINE. 無断複写・転載を禁じます。許可なく全部または一部を複製する事は禁じられています。Alpha, Axius, Bravo One, Bravo Two, Bravo Three, Circle M with Waves Logo, K-planes, Mariner, MerCathode, MerCruiser, Mercury, Mercury with Waves Logo, Mercury Marine, Mercury Precision Parts, Mercury Propellers, Mercury Racing, MotorGuide, OptiMax, Quicksilver, SeaCore, Skyhook, SmartCraft, Sport-Jet, Verado, VesselView, Zero Effort, Zeus, #1 On the Water and We're Driven to win are registered trademarks of Brunswick Corporation. Pro XSIは、ブランズウィック株式会社の登録商標です。マーキュリー製品保護は、ブランズウィックコーポレーションの登録サービスマークです。

保証について

モーターガイドの制限付き1年間の保証	6
--------------------------	---

一般情報

ボート搭乗者の責任	7
水中の人々の保護	7
乗船者の安全メッセージ	7
安全なボート操船の提案	7

製品概要

梱包内容	10
ツアープロ82 / ツアー109 トローリングモーター	11
仕様	12

配線・バッテリー情報

配線とバッテリー情報	13
推奨される方法と手順	13
バッテリーの推奨事項	13
バッテリーに関する注意事項	14
ワイヤーとケーブルの配線について	14
ワイヤーのカラー・コード	15
バッテリーの接続	15

トローリングモーターのインストールと操作

マウント・ブラケットの取り付け	18
トローリング・モーターの取り付け	20
固定フットペダルの取り付け（オプション）	23
バウンスバスターの取り付け	24
ZERO-Gガス・スプリングの取り付け	26
ソナーディスプレイとトローリングモーターの接続	27
ソナー・トランスデューサー干渉の低減	28
ケーブル・配線用クリップの取り付け	29
トローリングモーターの格納	31
トローリングモーターの展開	33
トローリングモーターの深度調整	35
方向インジケーター	35
スピード・コントロール	37

メンテナンス

トローリングモーターの保守	38
点検およびメンテナンス・スケジュール	38
潤滑油注入ポイント	39
バッテリーの点検	40
プロペラの交換	40
ステアリング・ケーブル張力の調整	42

トラブルシューティング

トローリングモーター性能	43
--------------------	----

保証について

モーターガイドの制限付き1年間保証

購入時の保証登録証を保管してください

保証サービスの対象となるのは、新品の第一購入者のみとなります。保証は元購入者から転売を受けた購入者には委譲されません。新品をご購入時にご登録頂いたWEB保証登録証は新品の第一購入者であることを証明するものですので、大切に保管してください。取扱説明書に基づき正常な使用をしていたにもかかわらず、保証期間内に不具合が発生した場合は、下記手順に従って購入販売店へご連絡下さい。

1. 購入販売店へ、モデル名、シリアル番号、不具合内容、お客様氏名をお伝えください。
2. 販売店が弊社へお客様情報を提供し、弊社システムと照合し保証期間内であるかを確認します。
3. 販売店で不具合の診断を行い、修理内容等について今後の対応をご説明させていただきます。

保証期間内であっても、下記事項に該当する場合は保証対象外となります。

※お客様全額負担の有償修理となります。

1. 正常な使用以外の、誤使用による故障および破損。
2. 保管やお手入れの不備による故障および破損。
3. 事故・過失による故障および破損。
4. 天災等による故障および破損。
5. 一般的に機能上影響のない腐食、錆および感覚的現象。
6. 正常な使用であっても、消耗部品が自然摩耗・摩擦および劣化した場合。
7. WEB保証登録が未完了のもの、および弊社にシリアル番号登録のないもの。
8. 新品を購入された第一購入者様以外の方からの依頼。
9. 改造による変形や故障、本体を分解および解体した形跡のある物。
10. その他、弊社保証規定審査の合わないもの。

その他

1. 保証期間内であっても、修理品を販売店/サービスセンターへ送付する際の送料はお客様負担となります。（修理後の返送は、元払いとなります。）
2. 保証期間満了後の製品修理については、別途修理費用を申し受けます。お見積り等の詳細は購入された販売店までお問い合わせ下さい。
3. 生産中止となったモデルは、修理をお受けできない場合がありますこと、予めご了承下さい。

以上、ご不明な点がございましたら、ご購入された販売店までお問い合わせ下さい。

一般情報

ボート搭乗者の責任

操縦者(運転者)は、ボートの正しく安全な運転および同乗者と一般公衆の安全について責任を負います。トローリングモーターを動作させる前に、各操縦者(運転者)はこのマニュアルを読んで理解する事を強くお勧めします。

運転者がボートを操縦する事ができなくなった場合に備えて、少なくとも一人以上の同乗者がトローリングモーターの基本操作ができることを確認してください。

水中の人々の保護

トローリング

ボートが低速であっても、水中の人はボートを回避する迅速な行動を取ることは困難です。



水中に人がいる可能性がある場所では、常にボートをスローダウンし、細心の注意を払ってください。

ボート停止中



警告

回転するプロペラ、移動しているボート、ボートに固定された器具は、水泳している人に重傷を負わせたり、死亡させたりする恐れがあります。ボートの近くの水中に人がいる場合、直ちにトローリングモーターを停止してください。

ボートの近くで人が泳ぐことを許可する前に、トローリングモーターを停止してください。

乗船者の安全メッセージ

ボートが移動中は、すべての乗客の位置を確認してください。ボート進行方向の急激な変化など、ボート速度の急激な減少によって、乗客がボートから投げ出されることがあります。

安全なボート操船の提案

水路を安全に楽しむために、地元やその他政府のボート運行規制と制限をよく理解したうえで、以下の提案を考慮してください。

浮揚装置の使用

各搭乗者に対して適切なサイズの承認された浮揚装置を、ただちに使用できるように備えることが義務付けられています。

ボートの過負荷禁止

ほとんどのボートは、認定された最大荷重（重量）が決められています。ボート容量プレートを参照してください。疑問がある場合には、販売店やボートの製造元にお問い合わせください。

安全点検と必要なメンテナンスの実施

定期スケジュールによって、修理が適切に行われていることを確認してください。

アルコールや薬物影響下でのボート操船禁止（法律違反）

アルコールや薬物の影響下でのボート操縦禁止（法律違反です）：アルコールや薬物を使用すると、判断力を損ない迅速に対応する能力を大幅に低下させます。

ボートへの搭乗

ボートへの搭乗：ボートへ乗客が乗り降りする際には、トローリングモーターを停止してください。

注意

ボートの操縦者は、視覚と聴覚による適切な見張りをすることが法律で義務付けられています。操縦者の視界、特に正面を、遮らないでください。ボートを操縦中、乗客、積載物、魚釣り用座席によって操縦者の視界を遮らないでください。

水中危険障害物

浅瀬に侵入する際には十分にスピードを落とし、細心の注意で進んでください。

つまづき防止

つまづきを防止するため、ケーブルやワイヤーを整頓し、邪魔にならないようにしてください。

事故報告

ボート操縦者は、そのボートがある一定の事故に関与した場合、その州の船舶関連法執行機関に、ボート事故報告書を提出することが法律によって義務付けられています。次のような場合、事故報告が必要です。1) 人命の損失や損失の恐れがある場合、2) 応急処置以上の治療を必要とする怪我がある場合、3) ボートに対して500ドル以上の損傷がある場合、4) ボート全損の場合。地元の法執行機関の支援を求めてください。

製品概要

Tour 82/Tour 109



70110

梱包内容

参照No.	数量	内容
a	1	ステアリング・アッセンブリー
b	2	ケーブル・タイラップ
c	2	ケーブル・タイラップ用ネジ
d	4	ナイロン・ロックナット
e	4	マウント・ワッシャー
f	4	ラバー・マウント・スペーサー
g	4	マウントネジ
h	1	バウンス・バスター・アッセンブリー
i	1	マウント
j	1	ガス・スプリング
K	2	ケーブル配線クリップ
L	1	タイダウン・ストラップ
M	2	六角スクリュー
n	2	プラスチック留めネジ
o	1	T20 トルクス・ビット
p	1	セルフ・タッピングネジ
q	1	プロペラ・ピン
r	1	プロペラ・ワッシャー
s	1	プロペラ・ナット
t	1	カタナ・プロペラ
u	1	T40 トルクス・ビット

推奨工具リスト

トロローリングモーターの組み立てと取り付け時には下記のリストの工具を使用をお勧めします。

1. ドリル
2. 6 mm (1/4 in.) ドリルビット
3. P3 スクリュードライバー
4. 11 mm (7/16 in.) レンチ
5. 6 mm (1/4 in.) 六角レンチ
6. 13 mm (1/2 in.) レンチ (オプション: バウンスバスター)
7. 4 mm (5/32 in.) 六角レンチ (オプション: バウンスバスター)
8. 弓のこ (オプション: バウンスバスター)

Tour 82/Tour 109



70005

- a** - ヘッド
- b** - 一体型バウンスバスター (オプション)
- c** - ラッチ解除ハンドル
- d** - フットペダル
- e** - モメンタリースイッチ
- f** - 3ポジションスイッチ
- g** - スピードコントロールノブ
- h** - バッテリーケーブル
- l** - HD+ユニバーサルソナーケーブル(特定モデルのみ)
- j** - プロペラ
- k** - ロワーユニット
- l** - コンポジットコラム
- m** - マウント
- n** - 深度カラー

仕様

モデル名	推進力	電圧	スピード コントロール	振動子内蔵	Pinpoint GPS	シャフト長
TR-82-36	82	24V	無段階変速	－	－	91.44cm (36in.)
TR-82-45	82	24V	無段階変速	－	－	114.3cm (45in.)
TR-109-45	109	36V	無段階変速	－	－	114.3cm (45in.)
TR-82-45SN	82	24V	無段階変速	○	－	114.3cm (45in.)
TR-109-45SN	109	36V	無段階変速	○	－	114.3cm (45in.)

配線・バッテリー情報

配線とバッテリー情報



警告

モーターの運転とバッテリーの充電はガスを発生させます。そのガスは、発火爆発し、重度の火傷を引き起こす可能性がある硫酸を撒き散らすことがあります。バッテリーの周囲を換気し、バッテリーの取扱をするときには保護具を着用してください。



警告

バッテリーを取り外さない状態でサービスやメンテナンスをする事、製品のは破損や、ケガや火災、爆発、閉電、または予期しないモーター始動の為に、試乗事故を引き起こすこと可能性があります。メンテナンス、サービス、取り付けモーターを外す前にはバッテリーケーブルを取り外してください。

推奨される方法と手順

重要：トローリングモーターの使用後と充電時には必ずトローリングモーターのプラグを抜いてください。

- ・ トローリングモーターの電源にメイン・エンジン・バッテリーを使用しないで下さい。トローリングモーター専用バッテリーまたはバッテリーバンクを使用して下さい。
- ・ 誤ってバッテリー端子をショートさせないために、バッテリーはバッテリーボックス内に密閉され、固定されている事を確認して下さい。
- ・ トローリングモーターの配線は、他に配線がされていない側としてください。
- ・ メイン・エンジン・バッテリーにボートのアクセサリを直接接続します。
- ・ トローリングモーターが使用ポジション(下側)にある時はトローリングモーターのバッテリーは充電しないで下さい。

バッテリーの推奨事項

- ・ 12ボルトのディープサイクル・マリンバッテリーを推奨します。必要なバッテリーの数はご使用のトローリングモーターのモデルによって異なります。
バッテリーの接続を参照してください。
- ・ 一般的にアンペアアワー値やリザーブキャパシティー値が高いディープサイクルバッテリーほど、より長時間の釣行が楽しめ、優れた性能を発揮します。
- ・ トローリングモーターのプラス線から1.8m(6ft)以内に手動リセット回路ブレーカーを取り付けます。
- ・ 同梱の10ゲージ・ワイヤーケーブルを1.8m(6ft)以上、全長で3m(10ft)以上の長さにしなさい。より長いバッテリーケーブルが必要な場合は、8 mm²(8ゲージ)バッテリーケーブルを使用してください。
- ・ バッテリーケーブルをターミナルへ固定する際はナイロック・ナットを使用して下さい。バッテリーケーブルの固定にウイングナットを使用すると接続不良を引き起こす可能性があります。

測深機や魚群探知機をトローリングモーターのバッテリーと接続しないで下さい。トローリングモーター用のバッテリーに電子機器を接続すると電氣的干渉を引き起こす可能性があります。測深機や魚群探知機はエンジン始動用バッテリーまたはアクセサリ用のバッテリーと接続してください。

推奨モーターガイドアクセサリ
8ゲージ バッテリーケーブルと50アンペア手動リセット回路ブレーカー
50アンペア手動リセット回路ブレーカー
60アンペア手動リセット回路ブレーカー

バッテリーに関する注意事項



警告

モーターの運転とバッテリーの充電はガスを発生させます。そのガスは、発火爆発し、重度の火傷を引き起こす可能性がある硫酸を撒き散らすことがあります。バッテリーの周囲を換気し、バッテリーの取扱をするときには保護具を着用してください。

バッテリーを充電すると、各セル内に爆発性混合ガスが生成されます。このガスの一部はベントプラグの穴を通して外部に漏出します。換気状況が悪い場合はバッテリー周辺に爆発性の気体が充満します。この爆発性ガスは充電後も数時間はバッテリー内や周辺に残ることがあります。火花や炎によって、このガスが点火され爆発を引き起こしバッテリーを破損する事があります。

爆発を防止するために以下の注意事項を遵守してください。

1. 充電中または充電されたばかりのバッテリーの周辺では喫煙しないでください。
2. トローリングモーターが動作している間はバッテリーケーブルを外さないでください
通電回路を遮断すると通常スパークが発生するので、バッテリーの端子で通電回路を遮断しないでください。充電器のケーブルクランプの接続や取り外しには常に注意してください。爆発を引き起こす電気アークの一般的な原因は接続不良です。
3. ケーブルを接続する際には、バッテリー端子の極性を逆にしないでください。

ワイヤーとケーブルの配線について

- ・ トローリングモーターの配線は、他に配線がされていない側としてください。
- ・ トローリングモーターは、専用のバッテリーに接続してください。
- ・ 測深機などの敏感な電子機器は、別のバッテリーに接続してください。
- ・ 船舶用エンジンは、独自の専用スターティングバッテリーが必要です。
- ・ 全てのバッテリーは共通のアースが必要です。

ワイヤーのカラーコード

ワイヤー・カラ略語				
BLK	ブラック		BLU	ブルー
BRN	ブラウン		GRA	グレー
GRN	グリーン		ORN	オレンジ
PNK	ピンク		PPL	パープル
RED	レッド		TAN	タン
WHT	ホワイト		YEL	イエロー
LT	ライト		DK	ダーク

バッテリーの接続



警告

電気系コンポーネント廻りの作業を始める前に、不慮の電気ショートによる電気システムへの損傷や破損を防ぐために、バッテリーからバッテリー・ケーブルを外します。



注意

バッテリー・ケーブルの接続と切断の順序を誤ると、感電によるけがの原因となったり、電気系統の損傷を引き起こしたりする場合があります。常に、最初にマイナス側(－)のバッテリー・ケーブルを取り外し、取り付けは最後にしてください。

お知らせ

推奨する仕様電圧の範囲外でのトローリングモーターの運転は、製品の損傷を引き起こす可能性があります。最大電源電圧を超えないようにしてください。

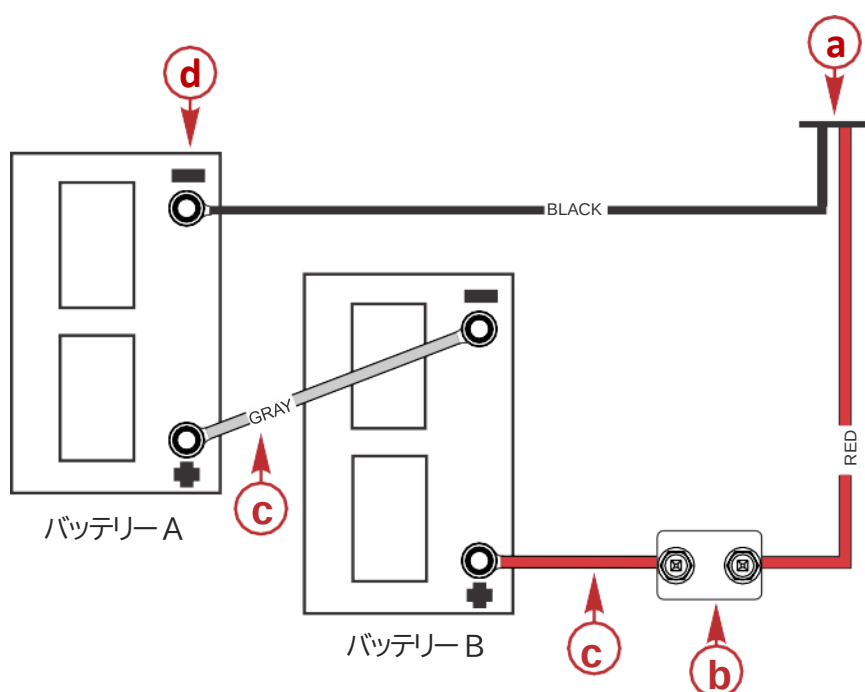
重要:トローリングモーターの電圧要件は、トローリングモーターのヘッド上のステッカーに記載されています。

24ボルトのバッテリー接続

- 最初に、エンジン始動用バッテリーからマイナス側(－)のバッテリー・ケーブルを外します。
- 50 アンペア(適切)、または60 アンペア(最適)の手動リセット回路ブレーカーを、トローリングモーター電源ケーブルのプラス(+)側リード線とトローリングモーター・バッテリーBのプラス側(+)端子のライン上に設置してください。
- トローリングモーター・リードのプラス(+)と、トローリングモーター・バッテリーB のプラス側(+)を接続します。
- ジャンパー・ワイヤー(グレイ)をバッテリーAのプラス(+)端子とバッテリーBのマイナス端子(－)を接続します。

重要:マイナス(－)とプラス(+)用のジャンパー線は、両方とも同じワイヤー・ゲージを使用する必要があります。

5. トローリング・モーターのマイナス側(−)リードをバッテリーA のマイナス(−)端子に接続します。
6. プラス側(+)のリード線を最初に、バッテリー・ケーブルをエンジン始動バッテリーに再接続します。



24ボルトのバッテリー接続

- a - トローリングモーター用電源ケーブル
- b - 手動リセット回路ブレーカー
- c - ジャンパーケーブル(別売)
- d - マイナス側(−)側バッテリー

36ボルトのバッテリー接続

1. 最初に、エンジン始動用バッテリーからマイナス側(−)のバッテリー・ケーブルを外します。
2. 50 アンペア(適切)、または60 アンペア(最適)の手動リセット回路ブレーカーを、トローリング・モーター電源ケーブルのプラス(+)側リード線とトローリング・モーター・バッテリーCのプラス側(+)端子のライン上に設置してください。
3. トローリング・モーター・リードのプラス(+)と、トローリング・モーター・バッテリーCのプラス側(+)を接続します。
4. ジャンパー・ワイヤー(グレイ)をバッテリーBのプラス(+)端子とバッテリーCのマイナス端子(−)を接続します。
重要: マイナス(−)とプラス(+)用のジャンパー線は、両方とも同じワイヤー・ゲージを使用する必要があります。
5. ジャンパー・ワイヤー(グレイ)でバッテリーのAのプラス(+)端子とバッテリーBのマイナス端子(−)を接続します。
6. トローリングモーターのマイナス側(−)リードをバッテリーAのマイナス(−)端子に接続します。
7. プラス側(+)のリード線を最初に、エンジン始動バッテリーへバッテリーケーブルを再接続します。

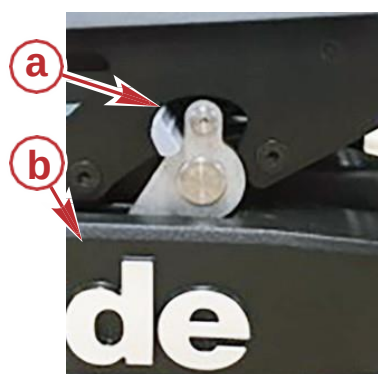
トローリングモーターのインストールと操作

マウント・ブラケットの取り付け

重要：この時点ではガス・スプリングは取り付けないで下さい。



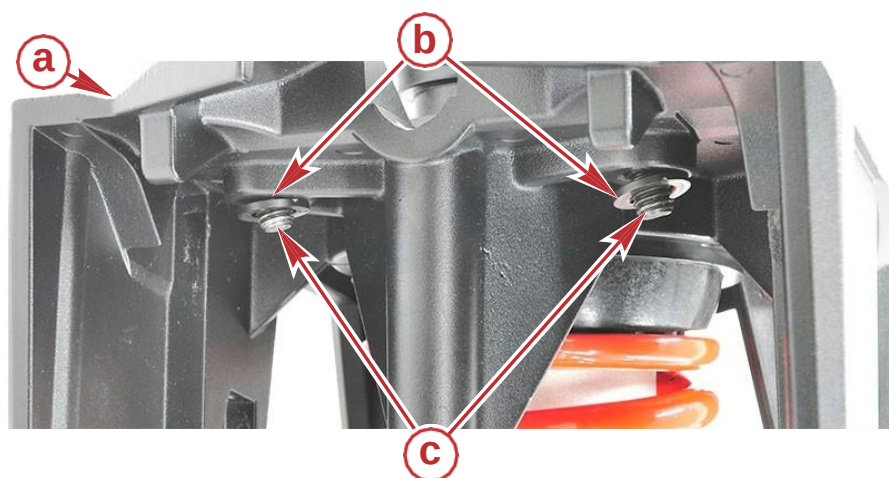
1. マウントをインストールする適切な場所を選択してください。
2. 作業台のような水平な高さのある場所にマウントを置きます。
3. ステアリングアセンブリーをパッケージから取り出します。
4. マウントからプラスチック製のラッチスパーサーを取り外します。



- a – ラッチスパーサー
b – マウント

5. パッケージからモーターガイドマウントアクセサリキットを取り出します。
6. ステアリング・システムアセンブリに六角ネジを取り付けます。

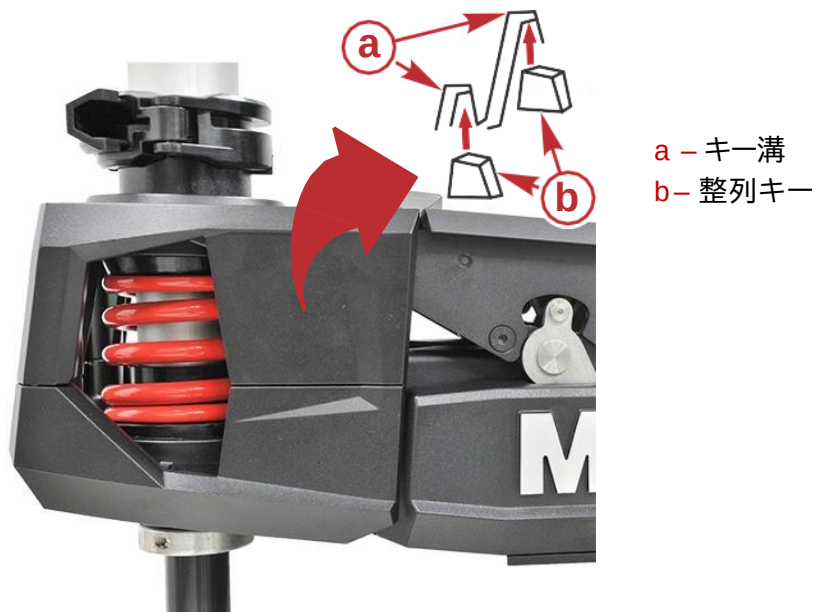
7. プラスチック製のリテーニング・ワッシャーを六角ネジに押し付けます。



- a - ステアリング・アッセンブリー
- b - プラスチック製リテーニングワッシャー
- c - 六角ネジ

重要 : ラッチ解除ハンドルとケーブルをマウンティングブラケットとステアリングシステムの間に挟まないように注意してください。

8. プラスチック製のリテーニング・ワッシャーを六角ネジに押し付けます。



- a - キー溝
- b - 整列キー

重要 : 360度ブレークアウェイハウジングの上部がマウントの上部位置と合っているか確認してください。

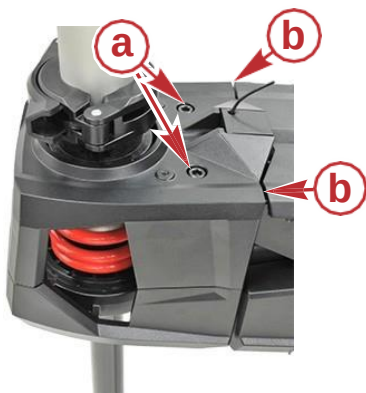
注意 : 2本目のネジを締めている時に、1本目のネジが緩むことがありますのでご注意ください。

9. 2本の六角ネジのうちの1本を既定のトルクで締め付けます。

それから2本目の六角ネジを既定のトルクで締め付けます。

2本目の六角ネジを締め付けた後で、1本目の六角ネジに緩みがないか確認してください。

名称	Nm	lb-in.	lb-ft
六角ネジ (2本)	16.3	144	–



a – 六角ネジ

b – マウント上部と位置を合わせた360度
ブレイクアウェイハウジング

トローリングモーターの取り付け

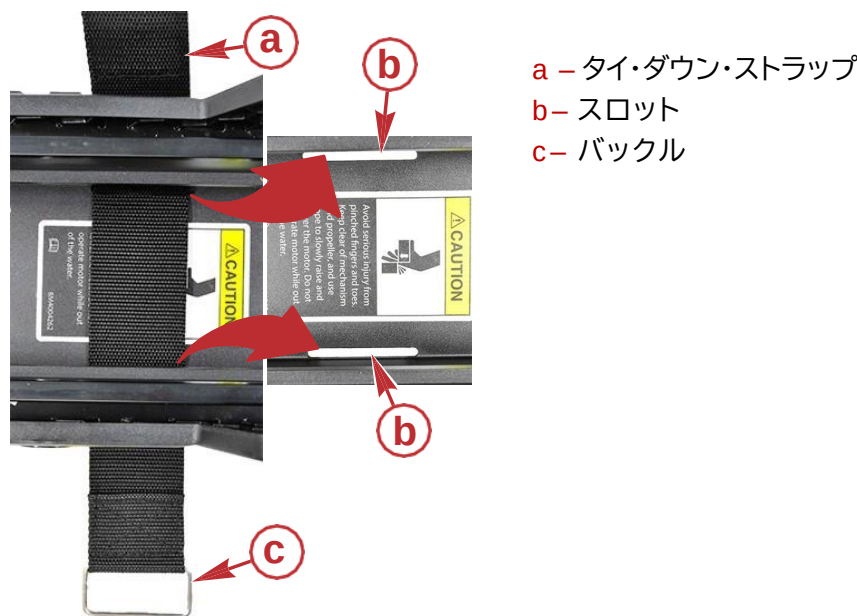
重要：モーターをできるだけボートの前方に取り付ける事をお勧めします。

モーターの揚げ降ろし時に干渉するものがないか確認してください。

マウント取付ネジがボートデッキ下の隔壁やボート配線などの障害と干渉しないことを確認してください。

1. ラッチ解除ハンドルを引いてモーターを引き上げ格納位置に下ろします。

2. タイ・ダウン・ストラップは、バックルがボートの外側を向くようにして、フックとループ側を下にして、マウントのスロットに取り付けます。



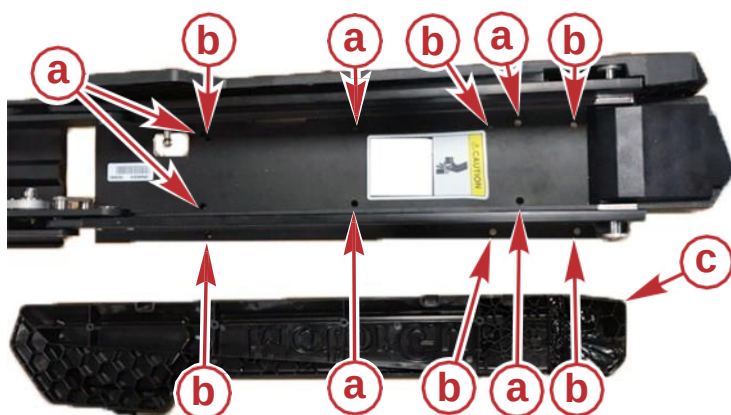
重要： 付属のバウンスバスターを取り付ける場合は、穴を開けモーターを取り付ける前に希望の取付位置にバウンスバスターが届くかどうか確認してください。バウンスバスターの取付を参照してください。

重要： ボートにモーターを取り付けるためには最低4本の取付ボルトが必要となります。確実に取り付けるためには、できる限りボルトの間隔を広げて下さい。

3. トローリングモーターをボートデッキ上に置きます。マウントベースの前後の取付穴の位置をマーキングするために、マウントベースをテンプレートとして使用して下さい。

インストレーションのバリエーション	
新艇への取付	マウントベース先端を7.6cm(3in.) 出して取付
現在3インチの穴をあけているトローリングモーターとの換装の場合	マウントベース先端を7.6cm(3in.)出して取付

インストレーションのバリエーション	
現在4インチの穴をあけているトロローリングモーターとの換装の場合	4本のネジを外し、スターボード側のプレートにマウントの内側から外し、旧モーターガイドトロローリングモーターマウントと合う10.2cm(4in.)マウンティング穴を見つけて下さい。



- a - 7.6 cm (3 in.)パターン
- b - 10.2 cm (4 in.)パターン
- c - スターボード側カバー

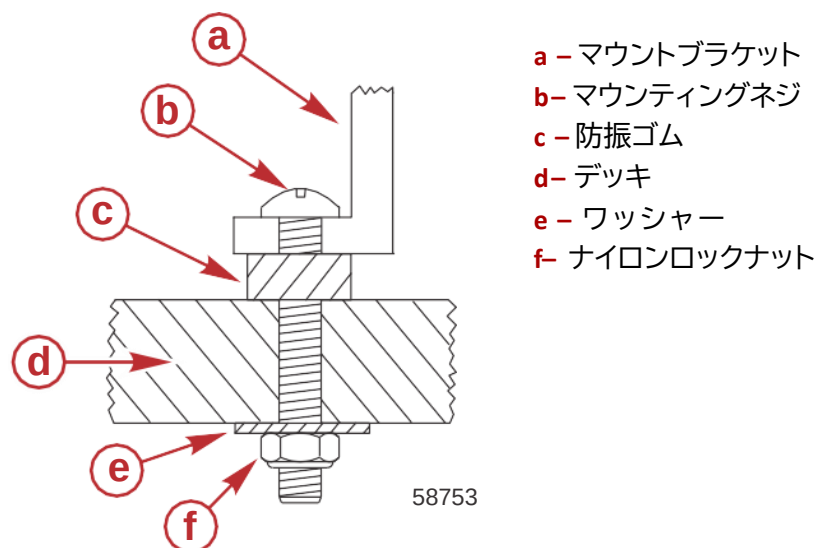
重要：ファイバーグラスのボートでは、大きなドリルビットを使用して割れないように皿穴とします。

4. 直径7mm(1/4インチ)のドリルビットで取付穴を開けます。
ごみを取り除きます。
5. マウントのベースとボート取付面との間に、防振ゴムを挿入します。
6. ボートデッキ下側のマウンティングボルトにステンレススチールワッシャーとナイロンロックナットを取り付け、しっかりと締付けます。

重要： 取付金具のかじり防止のため、ドリルを使用して取付ネジを締め付けないで下さい。

必要に応じて、レベル取付面を形成するため、外径25mm(1インチ)のステンレススチールワッシャーのシムをゴムワッシャーに入れます。マウントブラケットは防振ゴムに対して水平に設置されているか確認してからボルトで固定してください。

正しく設置されないとマウントが固着したり、開閉できなくなります。



7. 取り付け後、スロットにラッチピンを入れ、ブラケットを確実に均等に固定し、ロープハンドルを軽く静かに引いて解除します。

固定フットペダルの取り付け(オプション)

1. トローリングモーターを使用状態にセットし、フットペダルの適切な場所を決定します。

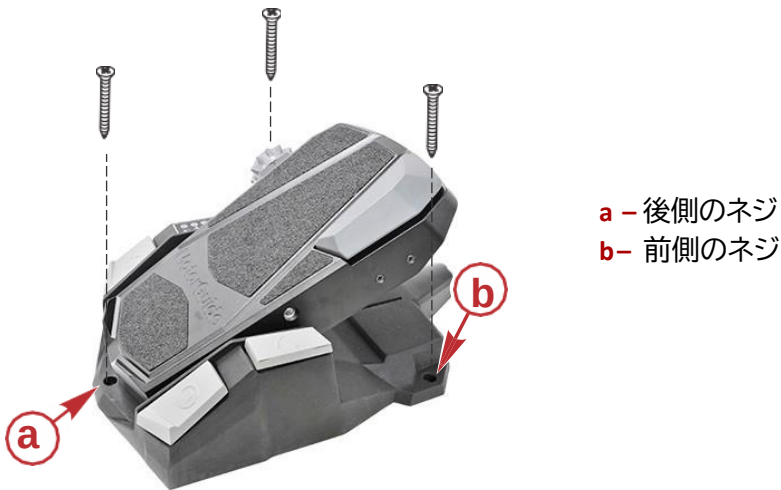
マウンティング・ネジがボートデッキ下の隔壁やボート配線などの障害と干渉しないことを確認してください。

2. 適当な場所を選択した後、フットペダルをテンプレートとして使用し取付穴をマークします。

重要： ファイバーガラスのボートでは、大きなドリルビットを使用して割れないように皿穴とします。

3. ボートデッキの穴あけは3mm(7/64インチ)のドリルビットを使用して下さい。
4. フットペダルのボートデッキへの取り付けはステンレススチールの#8 x2インチのネジを4本使用して下さい。
5. フットペダルをトウ側いっぱい倒し、フットペダルの前側2本のネジを取り付けます。

6. フットペダルをヒール側いっぱい倒し、フットペダルの後ろ側に1本のネジを取り付けます。



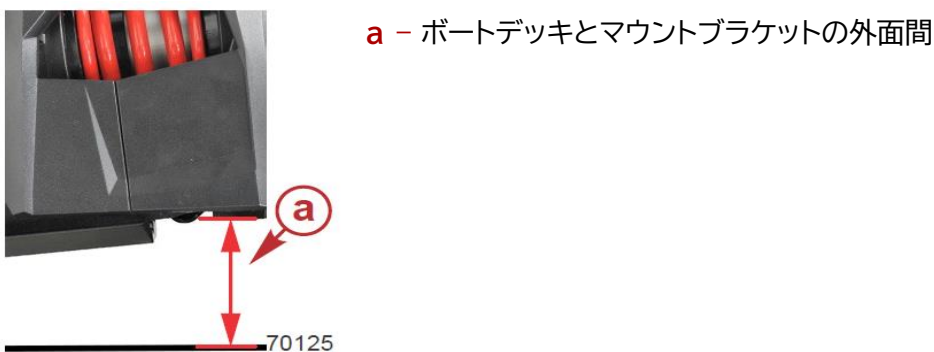
バウンスバスターの取り付け

1. トローリングモーターを格納位置に設置する。
2. マウンティングアクセサリキットからバウンスバスターを取り出す。

⚠ 注意

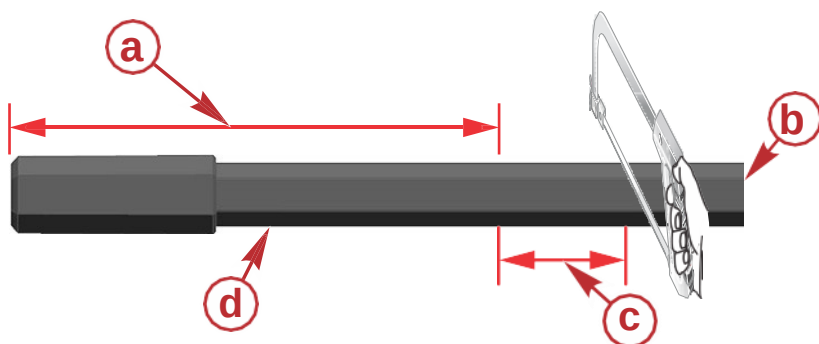
ボート走行中にトローリングモーター部品が外れ、ボートの助手席に飛び込んで怪我を負うリスクを避けて下さい。バウンスバスターが正しく取り付けられていないと、トローリングモーターが誤って展開し、プレーニングスピードにおいては修理不可能な不具合が発生する可能性があります。バウンスバスターを取付後に収納ラッチが完全に噛み合っている事を確認して下さい。

3. ボートデッキとマウントブラケット外面間の距離を計測してください。



4. #3で計測したボートデッキとマウントブラケット外面間の距離に12.7mm(1/2インチ)を追加してください。

5. 組み上げられていない側のバウンスバスターの端を最適な長さに合うように切ります。



a - ボートデッキとマウントブラケット外面間

b - 組み立てられていない側

c - 6.35 mm (1/4 in.)

d - バウンスバスター

6. トローリングモーターを展開位置にセットする。

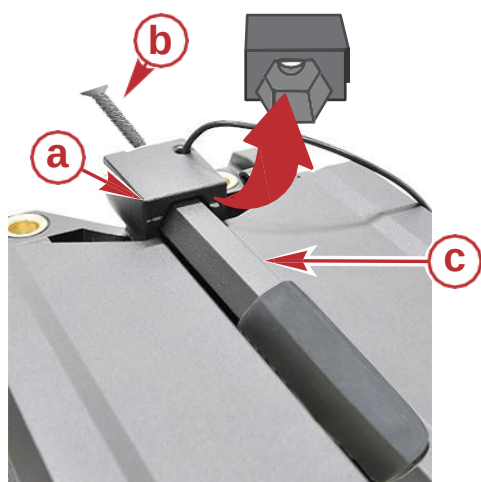
注) : 展開した状態のマウントからステアリング・システムを外すとバウンスバスターのネジ締め作業が簡単になります。

注) : バウンスバスターがバウンスバスターポケットにしっかりと収まっていない場合は緩む可能性があります。

7. 組み立てられていない側のバウンスバスターをバウンスバスターポケットに入れます。

8. バウンスバスターがバウンスバスターポケットに完全に挿入された状態で、鉛筆かテープを使い印を入れます。バウンスバスターのカットエンド側から20mm(0.79 in.)に印を入れます。

9. バウンスバスターのタッピングネジをバウンスバスターポケットに挿入し締め込みます。



a - バウンスバスターポケット

b - タッピングスクリュー

c - バウンスバスター

注) : ステアリングシステムを外している場合は、トローリングモーターインストールと操作を参考に取り付けて下さい。

10. トローリングモーターを収納する。

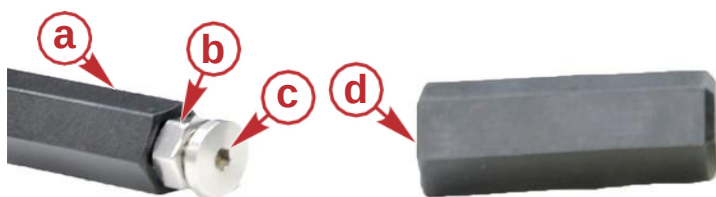


11. ラバーブーツを外してバウンスバスターのブーツエンドを調整します。

ネジを反時計回りに回して適切な長さになるまで緩み止めナットを緩めます。

12. 緩み止めナットをバウンスバスターの根本まで締め込み、時計回りに回します。

13. ラバーブーツを元に戻します。



a - バウンスバスター

b - 緩み止めナット

c - ネジ振ゴム

d - ラバーブーツ

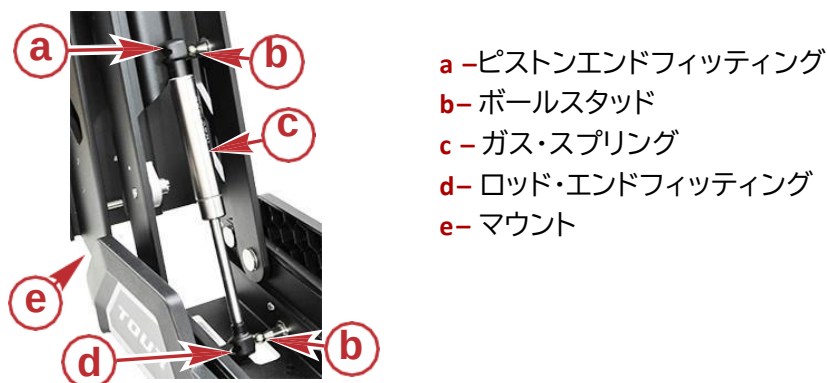
14. ラッチ解除ハンドルを使わずに360°Cブレイクアウェイを持ち上げて、収納位置で収納ラッチが嵌合しているか確認します。収納ラッチが 噛み合っている場合はマウントは解除されません。マウントが解除された場合は、ステップ10が確認できるまでステップ9を繰り返してください。

ZERO-Gガス・スプリングの取り付け

1. 同梱されているアクセサリーキットからガス・スプリングを取り出す。
2. ボールエンドスタッドがガススプリングのエンドフィッティングと一致するまでモーターを収納位置に回します。

重要 : ロッドエンドを上にしてガス・スプリングを取り付けないで下さい。
ガス・スプリングの早期故障の原因となります。

3. マウントベースにあるボールスタッドにガス・スプリングのロッドエンドフィッティングを押し込んで取り付けます。
4. マウントの内側アームにあるボールスタッドにガス・スプリングのピストンロッドエンドフィッティングを押し込んで取り付けます。



5. モーターを展開して、ガス・スプリングが正常に動作するか確認します。
6. モーターを完全に格納します。

トローリングモーターへのソナー・ディスプレイの接続

注) : この手順は、統合HD+ユニバーサルソナーを備えたモデルのみに適用されます。(振動子内蔵モデル)

このソナーディスプレイ接続手順はGarmin®, Humminbird®, Lowrance®及びRaymarine®ブランドのソナーディスプレイと互換性のある83/200kHzと455/800kHz HD+ ユニバーサルソナー振動子が内蔵されている統合ソナー付きトローリングモーターに適用されます。その他のソナーユニットとの互換性についてはwww.motorguide.comを参照してください。

トローリングモーターには、MotorGuide HD+ユニバーサルソナープラグが装備されています。他のブランドのソナーディスプレイをトローリングモーターに接続するためにはそれぞれのアダプターをご購入ください。

ソナーディスプレイの背面にあるソナーポートにケーブルコネクタを合わせます。一部のソナー多機能ディスプレイでは、ソナーメーカーが設定している追加のケーブルが必要になる場合があります。ユニットの電源を入れて、ソナーケーブルがしっかりと接続されているかどうか確認して下さい。



a - ハーネス - ノーズコーンソナーへ接続する

供給可能な振動子アダプターケーブル一覧	部品番号
Lowrance® 9-Pin HD+ ソナーアダプターケーブル	8M4004174
Lowrance® 7-Pin HD+ ソナーアダプターケーブル	8M4004175
Humminbird® 11-Pin HD+ ソナーアダプターケーブル	8M4004176
Humminbird® 7-Pin HD+ ソナーアダプターケーブル	8M4004177
Garmin® 8-Pin HD+ ソナーアダプターケーブル	8M4004178
Raymarine® HD+ Element ソナーアダプターケーブル	8M4004179
Raymarine® HD+ Axiom ソナーアダプターケーブル	8M4004180
MotorGuide 15' HD+ ”ユニバーサルソナー延長ケーブル	8M4004245

ソナー・トランスデューサーの干渉の低減

ソナー・トランスデューサーは無線周波数干渉(RFI)や電磁干渉(EMI)などの干渉の影響を受ける可能性があります。この干渉により、ソナー・ディスプレイの望ましくない動作が発生する可能性があります。

ソナー干渉の要因を減らすためには次のリストを参照してください。

- ゲインと呼ばれるソナー感度を下げます。設定方法は各ブランドのソナー・ディスプレイに同梱されている取扱説明書を参照してください。
 - 感度を自動設定に変更します。
 - 自動設定でソナー干渉が減少しない場合は、手動で感度を裁断設定の55%-65%に変更します。
- トランスデューサーケーブルが電源ケーブルの近くに配線されていないことを確認します。
- プラス(+)とマイナス(-)の電源ケーブルが隣り合っており取り付けられていることを確認します。
これはEMIをキャンセルするのに役立ちます。
- トランスデューサーケーブルに損傷、傷、または切れ目がないか調べます。
トランスデューサーケーブルが損傷している場合は交換してください。
- 他のアクセサリ類が接続されていないバッテリーとソナーディスプレイを接続します。
これにより、干渉が電源ケーブルかトランスデューサーケーブルのどちらから発生しているか確認する事が可能です。
- 無線周波数(RF)チョークをソナーディスプレイの電源ケーブルに取り付けます。
- ソナー・ディスプレイを別のトランスデューサーに接続します。

ケーブル配線用クリップの取付



注意

意図しないモーターの展開によるケガにご注意ください。不適切に取付されたモーターは、ボート走行中に展開し、損傷や破片の飛散を引き起こす可能性があります。

注意： 固定されていない状態で格納されているモーターは、航行中に意図せずに展開しケガをする恐れがあります。また破損した部品が乗船者に当たり、ケガをする恐れがあります。

モーターを格納する時は、必ずトローリングモーターの高さをアウターコラムの上半分まで調整し、ケーブルのたるみを取り除き、タイダウンストラップがしっかりと固定されている事や、モーターがラッチにかかっているか確認してから、ボートに電源を入れたり、牽引してください。

外部ケーブルの不適切な使用や取付は、ラッチの妨げになり、不用意な展開の原因になります。

ケーブル配線クリップは、ケーブルをモーターシャフトの外側やマウントに沿って配線する必要がある外部配線式のトローリングモーターアクセサリーに使用する事を目的としており、トローリングモーターにシームレスに取り付ける事が出来ます。

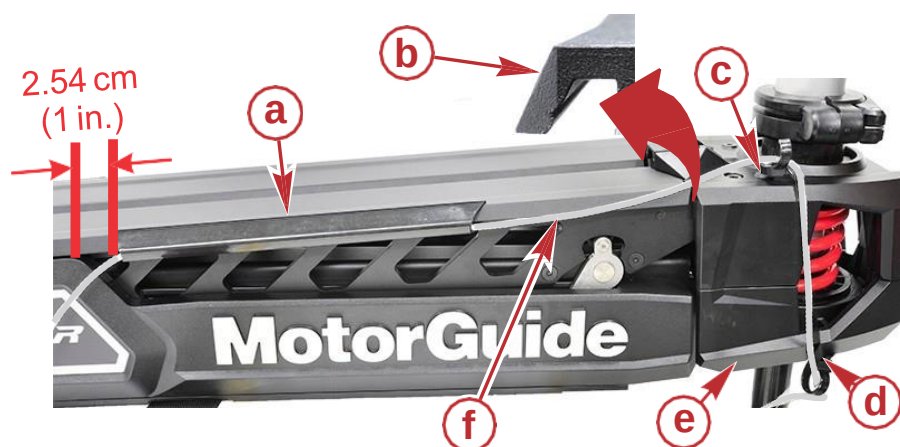
1. トローリングモーターを展開位置に設置します。



2. 選択したアクセサリーをシャフトまたはモーターローユニットに取り付けた後、シャフト側面のケーブルを360ブレイクアウェイハウジングの下部まで配線します。
3. トローリングモーターアクセサリーキットに含まれてる付属のジップタイとネジを使用して、360ブレイクアウェイハウジングの下部かにケーブルを取り付けます。
4. ジップタイとネジを使い360ブレイクアウェイハウジングの下部から上部にケーブルを配線します。
5. アクセサリーのケーブルをケーブル配線クリップの前面に挿入し、クリップの反対側の端にある2番目のスロットから引き出します。

重要：モーター格納時及び展開時にクリップが損傷しないように、クリップはサイドプレートの盛り上がっている部分から2.54cm(1インチ)以内にある必要があります。

6. マウントの開いた側を上にして、トローリングモーターマウントの両側の上部にあるオーバーハングにクリップを挿入します。



- a - ケーブル配線クリップ
- b - オーバーハング
- c - 360ブレイクアウェイハウジング上部
- d - 360ブレイクアウェイハウジング下部
- e - 360ブレイクアウェイハウジング
- f - ケーブル

トローリングモーターの格納

⚠ 警告

プロペラを回転させると、重傷を負ったり死亡する可能性があります。水面からモーターを出した状態で始動または操作しないで下さい。

⚠ 注意

ヒンジやピボットポイントなどの可動部で重大な人身事故を引き起こす可能性があります。モーターを格納・展開、または傾ける時は可動部に近づかないようにしてください。

⚠ 注意

意図しないモーターの展開によるケガにご注意ください。不適切に取付されたモーターは、ボート走行中に展開し、損傷や破片の飛散を引き起こす可能性があります。

重要： 固定されていない状態で格納されているモーターは、航行中に意図せずに展開しケガをする恐れがあります。また破損した部品が乗船者に当たり、ケガをする恐れがあります。

モーターを格納する時は、必ずトローリングモーターの高さをアウターコラムの上半分まで調整し、ケーブルのたるみを取り除き、タイダウンストラップがしっかりと固定されている事や、モーターがラッチにかかっているか確認してから、ボートに電源を入れたり、牽引してください。

トローリングモーターを水面から引き上げます。ラッチ解除ハンドルを持ちながら、ゆっくりとマウントの収納ラッチの位置に下ろします。ラッチ解除ハンドルはロックピンがかかるまで離さないで下さい。

1. トローリングモーターの深度をアウターコラムの上半分まで調整する。

※トローリングモーターの深度調整を参照してください、

2. ラッチ解除ハンドルをしっかりと握ります。

3. ラッチ解除ハンドルを引っ張り、格納ラッチを解除します。

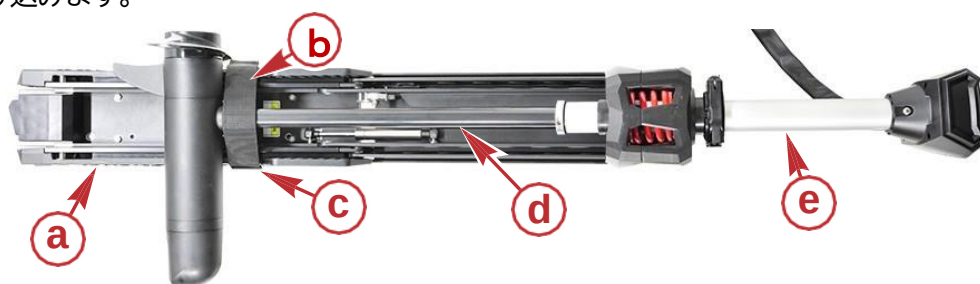
4. ラッチ解除ハンドルを引き続け、マウント上に下部ユニットを引き上げて下さい。



a - アウターコラムの半分の位置

b - ラッチ解除ハンドル

5. モーターが格納位置に入ると、トローリング用モーターを固定するためにロック・ピンが噛み込みます。



- a - マウント
- b - タイダウン・ストラップ
- c - バックル
- d - コンポジットコラム
- e - モーター

6. コンポジットコラムにタイダウン・ストラップとバックルを取り付けます。

しっかりとモーターをマウント・ブラケットに固定するため、フックとループのバックリングを一緒に固定します。

トローリングモーターの展開

⚠ 警告

回転しているプロペラに触れると、重傷を負ったり死亡したりする恐れがあります。水中以外ではモーターをスタートさせないで下さい。

⚠ 注意

ヒンジやピボットポイントなどの可動部で重大な人身事故を引き起こす可能性があります。モーターを格納・展開、または傾ける時は可動部に近づかないようにしてください。

⚠ 注意

モーターの深さを調整する時に、モーター落下による人身事故を回避してください。モーターを上げ下げする時には、しっかりと片手でモーターシャフトをつかんでください。

1. コンポジットシャフトをマウントに固定しているタイダウンストラップを外します。
2. ラッチ解除ハンドルをしっかりと握ります。
3. ラッチ解除ハンドルを引っ張り、格納ラッチを解除します。

重要：トローリングモーターを水中へ下ろします。ラッチ解除ハンドルを緩め、ガススプリングによってゆっくりとモーターを水中へ展開します。



重要：モーターを操作する前に、展開ラッチが噛み合っていることを確認してください。

4. モーターを展開位置に降ろすと、展開ラッチフックが噛み合いモーターが固定されます。



トローリングモーターの深度調整



注意

モーターの深さを調整する時に、モーター落下による人身事故を回避してください。モーターを上げ下げする時には、しっかりと片手でモーターシャフトをつかんでください。

水深に応じて、トローリングモーターの性能を向上させるために、モーターの深さを調整します。
ソナー干渉の要因を減らすためには次のリストを参照してください。

重要：モーターの深さを調整する際はキャビテーションが起こらないように、プロペラブレードが15 – 30cm(6 – 12inch)以上、水に浸かっていることを確認して下さい。

1. 深度調整カラーを保持しながら、片手でアウターコラムをしっかりと握ってください。
2. アウターコラムが自由にスライドできるように深度調整カラーを緩めます。
3. モーターコラムを上下して調整し、プロペラブレードが15 – 30cm(6 – 12inch)水面下になる位置で固定します。

重要：カムロックレバーに干渉するものがないか確認してください。

4. 深度調整カラーがアウターコラムにしっかりと固定されるまで、カムロックレバーを回してからカムロックアームを閉じます。



a – カムロックレバー
b – アウターコラム

方向インジケーター

方向性が一目でわかるインジケーターです

1. 右旋回(トゥ・ダウン)：つま先側を踏むとモーターによってボートが右旋回します。
2. 直進：フットペダルを水平にします。
3. 左旋回(ヒール・ダウン)：かかと側を踏むとモーターによってボートが左旋回します。

4. 逆方向に進むには、つま先側、もしくはかかと側を踏み続けて、ローワーユニットをボートの後方に向けます。

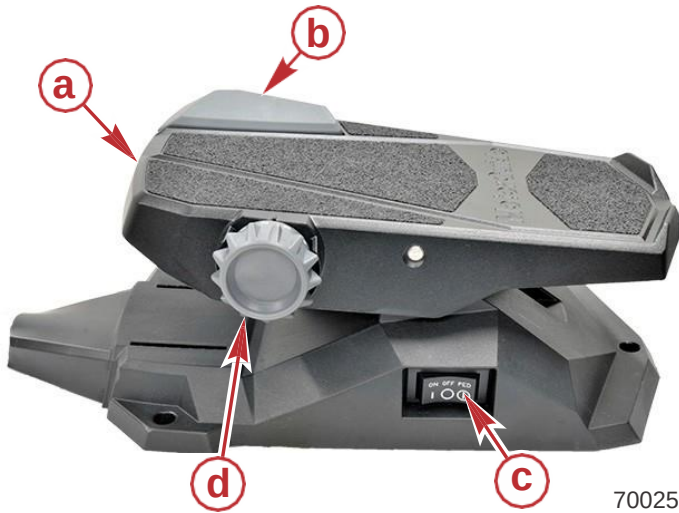


- a - 方向インジケーター
- b - 右旋回 - トゥ・ダウン
- c - 直進 - 水平 (ニュートラルポジション)
- d - 左旋回 - ヒール・ダウン

スピード・コントロール デジタル可変速モーター

全てのTOURモーターはデジタル可変速仕様となっています。

希望のスピードに到達するまで、手や足でスピードコントロールノブを回しモーター速度をコントロールします。



- a** - フットペダル
- b** - モメンタリースイッチ
- c** - ON / OFF / ペダルスイッチ
- d** - スピードコントロールノブ

- ・ **スピードコントロールノブ**：5速モーターの速度制御時には、0-10の番号が付けられており、10段階の速度選択や、モーターの停止ができます。
- ・ **モメンタリースイッチ**：モメンタリースイッチはフットペダルの右上にあります。モメンタリースイッチはON/OFF/ペダルスイッチがペダルスイッチ位置にある時に連携して動作します。

メンテナンス

トローリングモーターの保守

トローリングモーターを最高の動作状態に維持し、その信頼性を保持するには、トローリングモーターの定期点検やメンテナンスを実施する事が重要です。

あなたと乗客の安全を確保するために、適切にメンテナンスを実施する事を強くお勧めします。



警告

トローリングモーターの検査、保守、修理を怠ると、製品の破損や重大なケガや死亡事故につながる可能性があります。正しいサービスと安全手順に精通していない場合、トローリングモーターの保守またはサービスを実行しないでください。

交換部品の選択

MotorGuideの純正交換部品の使用をお勧めします。

点検およびメンテナンス・スケジュール

使用前

- ・トローリングモーターのデッキマウントが確実に固定されていることを確認してください。
- ・バッテリーリードの接続を確認してください。
- ・配線接続のゆるみと腐食を目視点検してください。
- ・プロペラナットが固定されていることを確認してください。
- ・プロペラブレードに損傷がないことを確認してください。

使用後

- ・電源からバッテリーケーブルを外します。
- ・プロペラとプロペラシャフトに海藻や釣り糸等のごみが絡んでいないことを確認してください。全てのごみを取り除きます。
- ・表面を傷つける恐れがある汚れやほこりがついているトローリングモーターを、きれいな水で洗ってください。

毎年一回または使用100時間毎

- ・定期的に全ての回転ポイントに潤滑油を注油します。潤滑ポイントを参照してください。
- ・ボルト・ナット、その他の接続部分が固定されていることを確認してください。
- ・バッテリーを点検してください。バッテリーの点検を参照してください。

通常使用

トローリングモーターの性能を維持するために、使用前と使用後に適切なお手入れを実施してください。

トローリングモーターは、0℃から50℃の温度範囲で、50℃の相対湿度が50%を超えないようにして運転してください。

格納の準備

・トローリングモーターを格納する上で、重要な考慮すべき事項は、腐食や、閉じ込められた水の凍結による損傷を避ける事です。
取扱説明書の指示に基づいて適切にトローリングモーターの格納準備をして下さい。
トローリングモーターは-29℃(-20°F)以下、75℃(167°F)以上の温度の影響を受けない乾燥した場所に保管してください。

重要：0℃(32°F)未満の温度で保管されているトローリングモーターは、30%を超える動作を行う前に、最低15分間はゆっくりと動作させる必要があります。

潤滑油注入ポイント

注：推奨される潤滑油は、モーターガイドまたは、マーキュリーマリンの正規サービス・センターで購入できます。

摩擦やきしみ音を減らすため、下記の潤滑油を定期的に指定されたポイントに注油してください。

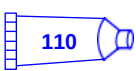
・ラッチフック：ツアーラッチグリス

チューブ 参照番号	説 明	使用箇所	Part No.
	ツアーラッチグリス	ラッチフック	8M4005246

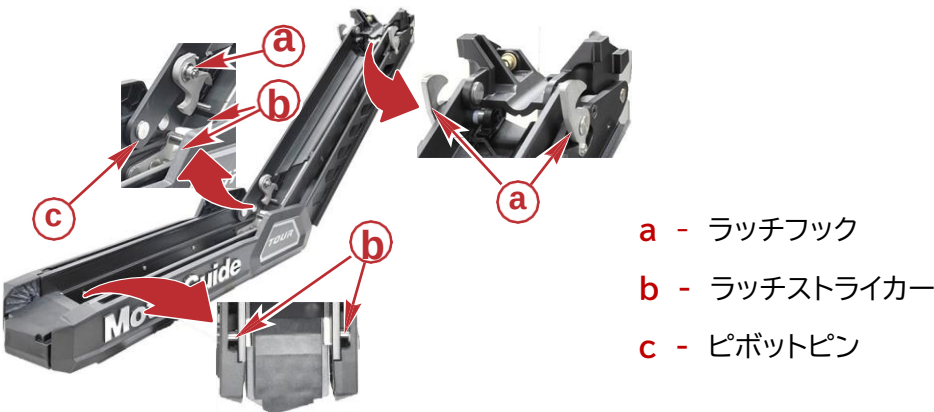
・ラッチストライカー：ツアーラッチグリス

チューブ 参照番号	説 明	使用箇所	Part No.
	ツアーラッチグリス	ラッチストライカー	8M4005246

・ピボットピン：4ストローク 10W-30船外機オイル

チューブ 参照番号	説 明	使用箇所	Part No.
	10W-30 4ストローク マリンエンジンオイル	ピボットピン	92-8M0078625

重要：ユニット部分にグリースや油をさす場合、エアロゾル潤滑油を使用しないでください。エアロゾル潤滑油は、トローリングモーターの様々な部分に損傷を引き起こす可能性がある有害な推進剤が含まれています。



バッテリーの点検

バッテリーはトロローリング用モーターを適切に運転できるように、定期的に検査しなければなりません。

重要：お使いのバッテリーに付属の「安全とメンテナンス」に関する指示をお読みください。

1. バッテリーが船にしっかりと固定されていることを確認して下さい。
2. バッテリーケーブルの端子が清潔で、固定されており、正しく取り付けられていることを確認してください。取付の手順については、**バッテリー接続**を参照してください。
3. 誤ってバッテリー端子をショートさせないように、バッテリーボックスを装備していることを確認して下さい。

プロペラの交換



警告

バッテリーを外さずにサービスやメンテナンスをすると、製品の破損や、けがや、火災、爆発、感電、または予期しないモーター始動によって死亡事故を引き起こす可能性があります。メンテナンス、サービス、取り付け、モーターを外す前に、バッテリーケーブルを外してください。

プロペラの取り外し

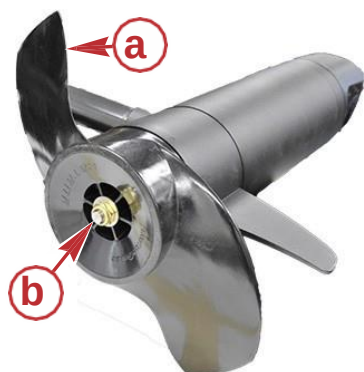
1. バッテリーから電源ケーブルを外します。

重要：レンチまたはラチェットとソケットで、プロペラナットを取り外します。

別の道具を使用すると、プロペラナットまたはシャフトが損傷する恐れがあります。プロペラが容易に取り外せない場合は、ゴムハンマーでブレード反対側の裏側を軽く叩いてください。プロペラが取り外せない場合は、正規代理店で取り外してもらうよう依頼してください。

注：プロペラピンが曲がっている場合はピンを交換してください。

2. 手袋をはめた片手でプロペラブレードを持ちながら、9/16インチのレンチ、もしくはラチェットを使用してプロペラナットを取り外します。プロペラナットとワッシャーを取り外します。

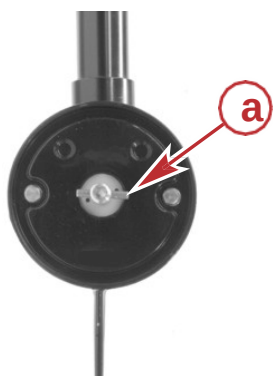


a - プロペラ

b - プロペラナットとワッシャー

プロペラの取付

1. 水平にプロペラピンを挿入するために、モーター軸を回転させてください。



a - プロペラピン

2. プロペラピンにプロペラを噛み合わせ、モーター軸にプロペラを取り付けます。
3. プロペラシャフトにワッシャーを取り付けてからプロペラナットを取り付けます。
レンチもしくはソケットやラチェットを使用し、プロペラナットをしっかりと締め付け
ます。さらにプロペラナットを1/4回転締め込みます。

ステアリングケーブル張力の調整



警告

トローリングモーターの検査、保守、修理を怠ると、製品の破損や重大なケガや死亡事故につながる場合があります。正しいサービスと安全手順に精通していない場合、トローリングモーターの保守またはサービスを実行しないでください。

トローリングモーターのケーブル張力は工場出荷時にあらかじめ調節されています。

使用しているうちにケーブルが伸びてくるので、時々調整が必要となります。

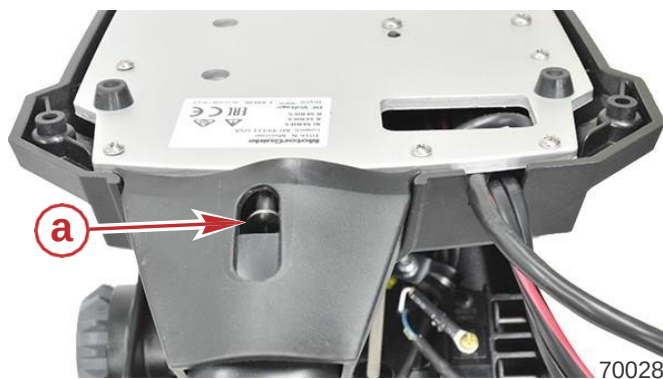
以下に、ステアリング・ケーブルの張力調整の方法を説明します。

ステアリングケーブル張力の調整には注意が必要です。ケーブル張力が緩すぎても、高すぎてもピンポイント機能の動作不良の原因となります。

フットペダルのペダル抵抗の設定を参照してください。

1. フット・ペダルがネジでデッキに固定されている場合は、ボートデッキからフットペダルを取り外してください。
2. ケーブル張力を高めるためには、ケーブル張力スクリューを時計回りにゆるめる場合には反時計回りに回します。フットペダルのパッドに遊びがなくなるまで、ケーブル張力スクリューを調整してください。

内容	Nm	lb-in.	lb-ft
ステアリングケーブル張力スクリュー	1.7	15	–



フットペダルの下部
a – ケーブルの張力ボルト

トラブルシューティング

トロローリングモーター性能

症状	考えられる原因	解決方法
電力の損失	バッテリーが弱い	配線とバッテリー情報を 参照
	ゆるみ、腐蝕バッテリー接続	
	プロペラのゆるみ、損傷、オフバランス	メンテナンスを参照
	配線や電氣的接続不良	バッテリーからトロローリング用モーターへのワイヤーゲージが不十分。 6ゲージワイヤー(13mm ²)を推奨します。
	プロペラに巻き付いた釣り糸、海藻、ゴミ	プロペラから釣り糸、海藻、ゴミを取り除きます。
過度の騒音、振動	モーターシャフトの曲がり	メンテナンスを参照
	プロペラのゆるみ、損傷、 オフバランス	メンテナンスを参照
モーター故障 (すべての速度)	バッテリーの弱り	配線とバッテリー情報を参照
	ゆるみ、腐食バッテリー接続	
	電気	コネクターが緩んでいないか、損傷していないか確認して下さい。 配線とバッテリー情報を参照
	ヒューズまたは回路ブレーカーが開いている	過負荷の原因を見つけ、修正してください。ヒューズ交換またはサーキットブレーカーをリセットして下さい。
モーターの故障 (1つ以上の速度で)	プロペラのゆるみ、損傷、 オフバランス	メンテナンスを参照
	配線や電氣的接続の不良	保証についてを参照
プロペラの取り外しが困難	プロペラピンの曲がり	1枚のブレードを以って、軽くゴムハンマーで反対側のブレードを叩きます。 プロペラの両側にスクレーパーを使用して均等に圧力をかけて下さい
	曲がったア-マチュアシャフト	サービスセンターに連絡

トラブルシューティング

症状	考えられる原因	解決方法
マウントブラケットが きしむ	ロックフック、ラッチストライ カー、ピボットピンに潤滑油を 注油して下さい。	潤滑油注油ポイントを参照
	ステアリングシステムのネジ が緩んでいる	ステアリングシステムのネジを締 める。トローリングモーターのイン ストール参照
マウントを展開・格納 する時に固い	泥・堆積物がラッチ・ストラ イカーに積もっている	慎重に掃除をし、全てのラッチと ストライカーに再度グリスアップ する。潤滑油注油ポイントを参照

突然停止したモーターの再設定

トローリングモーターは、プロペラの失速、過熱、プロペラシャフトの曲がり、
バッテリー接続部の緩みや腐食などにより、突然停止する事があります。
トローリングモーターが突然停止した場合は、以下の手順で安全に再起動して下さい。

1. スピードノブをスピード0に調整する。
2. トローリングモーターの電源を切る。
3. トローリングモーターを格納位置にセットする。
4. トローリングモーターのプロペラシャフトにラインやゴミが巻き付いていないか確認する。
5. トローリングモーターへの配線に接続の緩みや腐食がないか確認する。
6. 30秒待ってから、トローリングモーターを再起動する。
7. トローリングモーターを使用位置に展開する。
8. トローリングモーターを通常の操作で使用する。